

私たちはなれる もしもの時のヒーローに!!



郡上市消防団員 募集中!!

◆消防団とは

消防団は、消防本部・消防署と同様に市町村の消防機関です。「自らの地域は自らで守る」という精神に基づき、普段は様々な仕事に就かれている市民が、非常勤特別職の地方公務員として災害などに対応します。現在、市の消防団員数は1、896名（うち支援団員150名）で、各方面隊が連携し活動

しています。女性消防団員は本部に20名在籍し、女性ならではのきめ細やかな対応で、地域に密着した活動を行っています。

◆災害時の活動

《消火活動》

火災が発生すると、消防職員と協力して消火活動や近隣住民の安全確保、周辺の交通整理などをを行い、その場に応じた迅速な活動を行います。

《救助活動》

災害が起こった場合に、地域を知り尽くす消防団の救助活動は大きな力になります。大規模災害時には、発生直後から地域と連携し、救助活動や避難誘導を行います。

《水防活動》

風水害の際には、河川等の警戒、土のう積みなどの防災活動を迅速に行います。また、消防職員と協力して住民の避難や救助を行い、災害復旧作業も支援します。

◆平常時の活動

《消火・防災訓練》

火災現場を想定した訓練（放水訓練等）を行っています。各地域で開催される防災訓練にも、積極的に参加しています。

《防火啓発活動》

各家庭を訪問し、防災指導などの啓発活動を行っています。また、地域の高齢者のお宅を訪問し、災害時に救助が必要な人を把握することも、重要な役割です。

《救命講習会》

市民がいざというとき、病气やケガに素早く対応できるよう、AEDの使い方をはじめとした応急手当方法の普及・啓発を行っています。

消防団員インタビュー ～若き消防団員の声を聞きました～

- 質問 ① 消防団に入ったきっかけは？ ② 平常時の活動は？
③ 消防団に入って良かったことは？ ④ みなさんへメッセージをお願いします。



あだち まさなお
定立 雅有さん
(八幡方面隊)
団歴1年

- ①職場の先輩に誘われ入団しました。
- ②訓練や防火啓発活動に参加しています。
- ③地域の人たちと様々なことで交流の場が増えました。
- ④防火防災に目を向け、愛する郡上を一緒に守りましょう。



にしむら ゆき
西村 佑紀さん
(大和方面隊)
団歴1年

- ①職場の先輩に誘われ入団しました。
- ②消防水利の点検や地域パトロールを行っています。
- ③地域のみなさんとの交流がより深くなったことです。
- ④一緒に郡上市を守っていきましょう。



こばやし こうへい
小林 滉平さん
(高鷲方面隊)
団歴1年

- ①地域の同年代のみなさんから誘われて入団しました。
- ②操法訓練、演習訓練、水利点検などを行っています。
- ③世代を超えた交流の場ができ、学ぶ機会が増えました。
- ④一緒に地域を守っていきましょう。

消防団員募集！

みなさん、一緒に愛する郡上を守りませんか。仕事に就きながら、子どもを育てながら、地域の安全と安心のため力をあわせる消防団員。一人ひとりの想いと決意が地域のみなさんの笑顔に！

入団手続等については、下記または地元消防団員までお気軽にお問合せください。

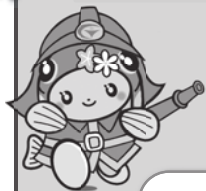
☎ 消防本部消防課 ☎ 67-1216 総務部総務課 ☎ 67-1832
または各振興事務所振興課



まつもり みく
松森 未来さん
(団本部)
団歴半年

- ①職場の人に誘われ入団しました。
- ②消防訓練や消防団のPR活動に参加しています。
- ③地域の人や年代の違う人と関わる機会ができたことです。
- ④楽しく勉強中です。みなさん、一緒に活動してみませんか。

春の全国火災予防運動



3月1日（金）から7日（木）までの1週間は「春の全国火災予防運動」です。この季節は、空気が大変乾燥し火災の発生しやすい時期となります。火の取り扱いには十分注意し火災を防ぎましょう。

◆平成30年度全国統一防火標語◆

「忘れてない？ サイフにスマホに 火の確認」

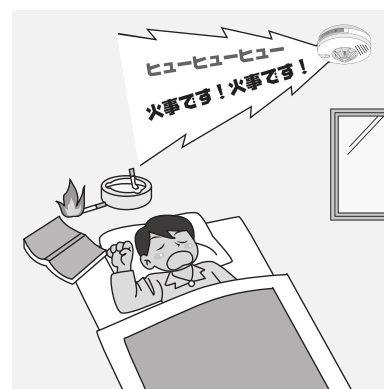
火災件数

平成29年の全国での火災件数は39,373件でした。これは、おおよそ1日あたり108件、約13分ごとに1件の火災が全国のどこかで発生していることになります。出火原因としては「たばこ」が最多で、続いて「放火」、「こんろ」、「たき火」…となります。

市内では、平成30年に22件の火災が発生しました。

前年と比べると建物火災7件で3件減少、林野火災6件で6件増加、車両火災4件で4件減少、枯草火災等5件で1件増加しています。火災によりけがをした人が2人、亡くなられた人が1人いました。

火災に早く気づき、早く避難するためにも、すべての住宅に住宅用火災警報器を設置してください。また、すでに設置してあるお宅は、維持管理にも注意していただくようお願いします。



住宅用火災警報器の点検・保守

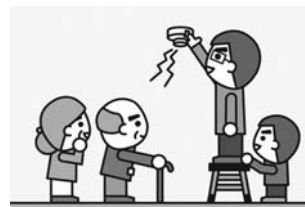
市では、電器商業組合郡上支部の加盟店の協力を得て、点検、取り付けを無料で行う事業（郡上市ミニ行政パートナー事業）を4年前から実施していますので、次のような人は、ぜひご利用ください。

- ①点検方法がわからない。点検ができない。
- ②住宅用火災警報器の調子が悪い。
- ③購入した住宅用火災警報器が取り付けられない。
- ④まだ取り付けていないのでこの機会に取り付けたい。

※機器代金は、有料となります。

●点検のポイント

- ボタンを押して点検
- ひもを引っ張って点検
- 音が鳴らなかったら、電池切れまたは故障している場合があるので交換する必要があります。



スプレー缶・カセットこんろ用ガスボンベの取り扱いに注意！

スプレー缶には、液化石油ガス（LPG）などの可燃性ガスを噴射剤として使用しているため、その取り扱いには、注意が必要です。また、近年多く使われているカセットこんろには専用のガスボンベがあり、こんろも併せて使用の際には製品についている注意事項を確認しましょう。

- ▶ストーブやこんろなど、火気のある場所では使わない。
- ▶直射日光を避けて保管する。
- ▶スプレー缶の危険性を知り、正しく使いましょう。
- ▶カセットこんろボンベは、正しくセットされていることを確認して使いましょう。

全国山火事予防運動

（3月1日から3月7日）

山火事予防統一標語

～**忘れない 豊かな森と 火の怖さ**～

これからの季節は、林野、枯草火災等が発生しやすい気象状況となります。

また、一度林野火災が発生すると被害が大きくなりやすく、貴重な森林を消失させ、その回復には多くの費用と時間がかかります。

郡上市の多くを占める森林は、自然環境の保全、土砂災害や洪水被害の防止、木材の供給といった私たちの生活に重要な役割を果たしています。かけがえのない森林を守るため、一人ひとりが火の取り扱いには十分注意して山火事を防ぎましょう。

問 消防本部予防課 ☎ 67-1219